

温海地域の人口減少、少子高齢化

温海地域年齢（3区分別）人口

国勢調査結果より
※令和2年3区分別不明



【年代別人口】

56.4% (3,687人) 令和4年3月末時点・住民基本台帳

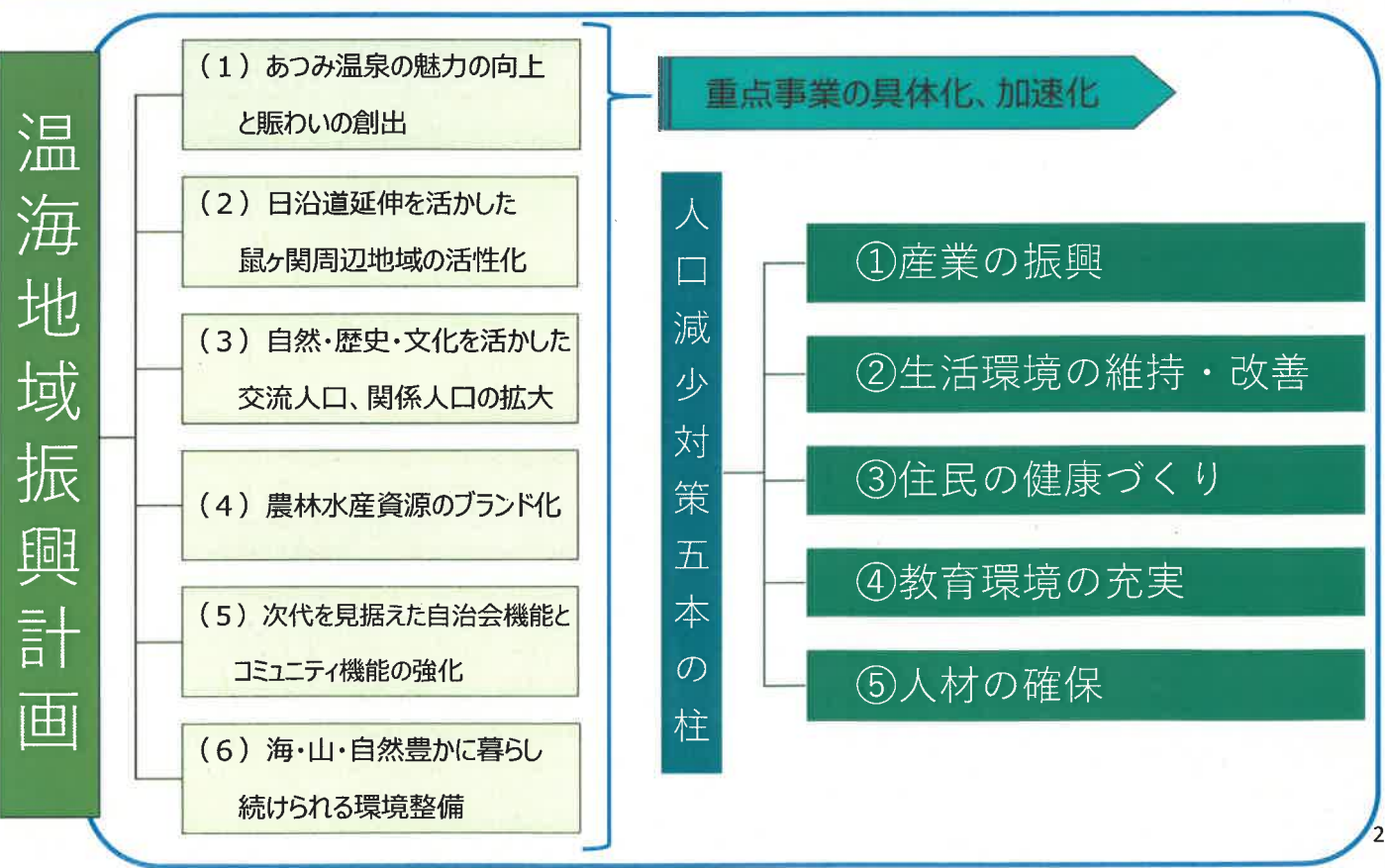
年齢	0～9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳代	合計
人数	256	427	347	405	600	812	1,162	1,305	931	279	10	6,534
構成比	3.9%	6.5%	5.3%	6.2%	9.2%	12.4%	17.8%	20.0%	14.2%	4.3%	0.2%	100.0%

【温海地域出生数の推移】

鶴岡市市民課

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
出生数	49	43	45	39	37	29	32	22	19	20	21	16	26

温海地域の人口減少対策



温海地域乗合タクシーの利用実績について（令和3～4年度）

【総評】

路線バスの廃止に伴い令和2年10月から試験運行を実施。戸沢線、平沢線、関川線は路線バスの乗車平均を上回る利用がある。便数が少なくなっていることから単純な比較はできないが、おおむね好評といえる。令和4年6月からは戸沢線と平沢線において、回送車を利用し、観光客をターゲットとした一部区間（あつみ温泉駅～バラ園）の増便を実施している。今後も利用者の意見を聴取・検証し、令和5年10月の本格運行につなげていく。

ルート名	利用人数	台数	平均乗車人数
戸沢線	4,768人	1,176台	4.05人/台
平沢線	8,910人	1,770台	5.03人/台
関川線	1,580人	1,072台	1.47人/台
菅野代線	78人	60台	1.30人/台
計	15,336人	4,078台	3.76人/台

項目	R3第1	R3第2	R3第3	R3第4	R4第1
目標人数 (人)	3,627	3,627	3,627	3,627	3,834
利用人数 (人)	3,700	3,694	3,890	4,052	3,776
台数(台)	993	1,039	1,048	998	1,087
平均乗車人数 (人) …①	3.73	3.56	3.71	4.06	3.47
運賃収入 (円)	637,600	641,500	636,000	646,900	639,400
運行経費 (円)	5,444,418	5,762,521	5,866,314	5,577,272	6,080,293
一人当たり輸送費 (円) …②	1,299.1	1,386.3	1,344.6	1,216.8	1,440.9
会員登録数 (人) …③	108	113	114	117	124

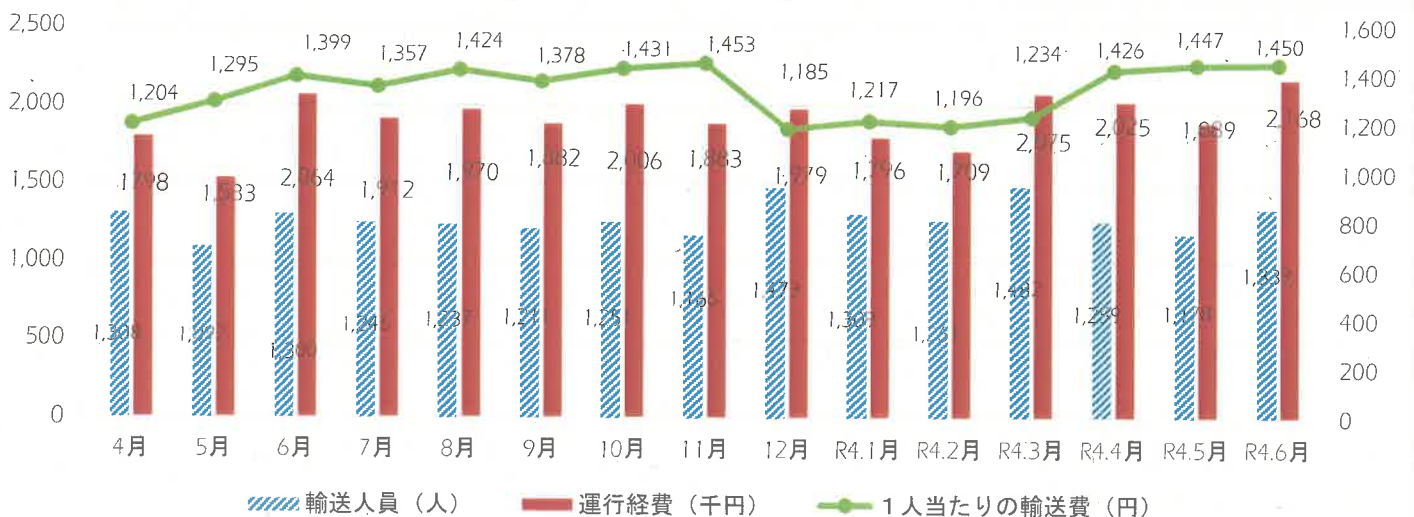
留意事項等

R3.6 戸沢線・菅野代線が1便増便、菅野代線は平日隔日運行から、平日運行に変更。

●ルート別利用実績（R3年度）

●4半期別状況（R3～R4）

月別の推移（R3.4月～R4.6月）



令和4年度温海地域まちづくり未来事業等の進捗状況について

NO	区分	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	事業概要(全体)	令和3年度の実績・評価	令和4年度事業概要	令和4年度事業の進捗状況と今後の予定	
								※実施状況(8月末時点)	次年度以降の計画(方針)
1	継続	産業建設課	基本方針(1)あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出	温海公園(ばら園)整備事業	開園から50年以上経過し老朽化が進んだ温海公園(あつみ温泉ばら園)を改修し、あつみ温泉の観光の拠点、市民の憩いの場としてリニューアルを図る。	・老朽化で破損した照明灯2基の改修を実施し公園景観を維持できた。 ・温海公園(ばら園)については、全市的な都市公園整備に位置付け、大規模リニューアルの目途が立った。	・実施設計業務委託を発注し、地元の関係団体(あつみ温泉魅力づくり推進委員会、熊野神社、㈱YUKAI等)と連携しながら、改修計画を策定する。 ※令和4年度から市全体の公園整備として予算化	・6月8日 実施設計業務委託契約締結済。 ・受注者 アジア航測株式会社 ・工期 R4.6.9~R5.3.10 ・今後は、地元関係者の合意を得ながら整備計画を作成する。	・温海公園整備工事実施 ・温海公園指定管理者制度移行準備
2	継続	産業建設課	基本方針(1)あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出	あつみ温泉集客イベント実施事業	民間主導の集客効果の高いイベント開催を支援する。「あつみ温泉開湯1200年」「庄内藩の湯役所設置400年」の節目の年に、地域の旅館・商店など関係者と協議しながら、地域が一体となったイベントを開催し、更なる誘客に努める。	・10月2日の「あつみ温泉開湯1200年記念式典」と引き続き行われた「お湯奥まつり」の開催を支援した。 ・12月14日の「あつみ温泉まちの魅力づくり有識者意見交換会」の開催を支援した。	(1)あつみ温泉魅力づくり推進委員会が実施する「お湯奥まつり」の開催を支援する。 (2)酒井家庄内入部400年記念事業の実施 ①あつみ温泉バラ園で記念のバラの植樹を実施。 ②酒井家と温海地域の歴史に関する講演会を開催(講師 酒井忠久氏、あつみ観光協会若松邦彦氏)	・あつみ温泉に庄内藩湯役所が設置されたことに因み、9月17日に「酒井家庄内入部400年記念講演会」及び「殿様の薔薇植樹式」を実施する。 ・あつみ温泉魅力づくり推進委員会主催の「お湯奥まつり」の開催を支援する。	・集客イベントに対する支援は令和4年度で終了することで調整。今後は、イベントよりも日常の魅力づくりに力点をシフトする方向性。
3	完了	産業建設課	基本方針(1)あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出	あつみ温泉観光戦略策定事業 【R3完了】	あつみ観光協会や温海温泉旅館組合、地域住民、行政が連携し、あつみ温泉の中長期的な戦略策定を目指す。策定にあたっては、住民ワークショップの開催やまちづくりアドバイザーから指導助言を受ける。	・まちづくりアドバイザーを定期的に招聘し、旅館や飲食店をはじめ、あつみ観光協会や温海温泉自治会等と意見交換することができ、あつみ温泉の方向性を確認することができた。			
4	新規	産業建設課	基本方針(1)あつみ温泉の魅力の向上と賑わいの創出	あつみ温泉魅力向上事業	令和3年度に策定したあつみ温泉観光戦略に基づき、具体的な実践策について「まちづくりアドバイザー」を委嘱して、より効果的な温泉街づくりに資するよう指導助言を仰ぐ。観光客の立ち寄り施設であるあつみ温泉の足湯を修繕し、クオリティ向上を図る。	※令和4年度新規事業	(1)あつみ温泉の魅力向上の取組について、専門家を招聘し、指導・評価分析を仰ぐ。 (2)民間事業者が実施する足湯のリフレッシュ事業に補助金を交付し支援する。	・平成25年度に㈱YUKAIに譲渡した足湯カフェットモッシュェの「もっしえ湯」のリフレッシュ事業を支援した。	・官民の役割分担を共有したうえで、まちづくりアドバイザーや地元観光関係者との意見交換を継続する。 ・公共施設のグオリティ-の維持向上に向けた取り組みを継続し、あつみ温泉の観光振興につなげていく。 ・観光庁の補助事業等の外部資金を有効活用して、民間事業者の店舗の魅力向上に取り組み、温泉街全体の魅力向上を図る。

令和4年度温海地域まちづくり未来事業等の進捗状況について

NO	区分	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	事業概要(全体)	令和3年度の取組・評価	令和4年度事業概要	令和4年度事業の進捗状況と今後の予定	
								※実施状況(8月末時点)	次年度以降の計画(方針)
5	継続	産業建設課	基本方針(2) 日沿道延伸を活かした鼠ヶ関周辺地域の活性化	はなさき路の賑わいづくり事業	将来の新たな地域拠点整備による観光集客を最大限に活かすため、鼠ヶ関地内に人を誘導する仕組みや観光のまちづくり推進のため、鼠ヶ関IC(仮称)周辺地域のブランディング創出とともに、地域の振興と産業の活性化を図る。	・マリンパークねずがせきに、鼠ヶ関(恋する灯台)観光案内看板を製作、設置した。 ・はなさき路整備検討委員会で出された検討課題を踏まえ、地域でワークショップを開催し「はなさき路観光基本戦略」を策定した。	鼠ヶ関小学校児童を中心とした「輝かせよう光の鼠ヶ関活性化プロジェクト(灯台・遊歩道のイルミネーション)」を継続するため、遊歩道のイルミネーション設置を支援する。	・はなさき路魅力向上事業補助金交付要綱を新たに制定し、イルミネーション購入支援の体制を整えた。 ・観光庁補助金を活用し、旅行ツアーの受入れ実証事業として、鼠ヶ関灯台へのプロジェクトマッピング投影や弁天島遊歩道へのイルミネーション設置点灯事業を実施した。	はなさき路整備推進委員会を構成する、あつみ観光協会鼠ヶ関支部や商工会、自治会など地域の団体と話し合いを重ね、来年度事業の進め方について各団体において検討を行うこととしている。整備推進委員会では、その結果を踏まえながら、取組みを進めていく方針。
6	拡充	産業建設課	基本方針(3) 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	あつみ体験旅行推進事業	地域資源を活用した体験型観光の推進や教育旅行の誘致により地域経済の活性化を図るとともに、事業推進の過程で人材育成を図る。	・学びと体験を通じたSDGs教育旅行の本格誘致を行ったことにより、43校(延べ3,534名)の教育旅行を受入れた。地域連携による体験受入れを行い、あつみ温泉への宿泊など、地域滞在型観光を促進し、経済波及効果をもたらすことができた。	(1)SDGsを取り入れた体験事業の本格実施に向け、NPO団体に活動推進職員を1名増員し、教育旅行の体制を強化を図る。 (2)団体が実施する体験型旅行の誘致とプログラム造成に対する支援を継続する。	(1)NPO法人において職員を新たに1名増員し、教育旅行の受入体制の強化、充実を図った。 (2)今年度の教育旅行受入れ状況としては、あつみ温泉への宿泊を伴う教育旅行を28校(昨年度の65%)受け入れ。(8月末現在)	持続可能な地域づくりを進めるため、地域と連携して温海地域をフィールドに体験受入れを行う、NPO法人の取組みの継続が求められている。 コロナ禍で教育旅行が増加したものの、今後は減少が予想されることから、今後の法人の事業展開や方向性に注視しつつ、自走に向けた体制づくりを支援する。
7	継続	総務企画課	基本方針(3) 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	温海地域支援ネットワーク推進事業	・地域を離れても関係人口として地域と関わる仕組みを構築し、新たな関係人口の増加と若者の地元回帰を目指す。 ・新たな「地域づくりの担い手」となる人材を温海地域に迎え入れることで、人口減少が背景となって発生する諸課題の解決、地域の活性化を図る。	(1)明日の芽を育てるプロジェクト ・高校生を対象に、SNSを活用した情報発信講座を実施し、Instagramを活用し「温海の魅力」発信に取り組んだ。(協力:あつみ観光協会)(全3回、参加者3名)温海地域への関心と情報発信のスキルアップを図ることができた。 (2)リビングシフト支援事業 ・「温海くらし&しごと体験事業」(2泊3日)を企画し、4名の参加申込(定員5名)があったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 (3)東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム(2年目) ・5名の学生が、6~2月にかけてオンライン交流や現地活動等を通し、「温海地域の関係人口創出について」施策提案を行った。地域と学生の交流により、関係人口への関心が高まった。参加学生のうち2名が、現在、温海地域に滞在し地域活動に参加している。	(1)明日の芽を育てるプロジェクトとして、高校生~20代の若者を対象にSNSを活用した情報発信講座の開催。 (2)リビングシフト支援事業として、温海くらし&しごと体験事業(2泊3日程度)の実施。 (3)東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラムへの参加(3年目) (4)大学生を対象としたビジネス研修プログラム「武者修行プログラム」への協力	(1)中学生~20代を対象とした「スマホで気軽にYouTube講座~温海で動画作成に挑戦!~」を実施。(8月8日、9日)全2回、参加者3名。 (2)「温海くらし&しごと体験事業」11~12月実施予定。(2泊3日、県外在住の20代~30代対象、定員5名) (3)東京大学の学生5名が参加。8月23日~25日現地活動とオンラインによるミーティングを3回実施。 今後の予定として ①11月26日(土)~27日(日) 第2回現地活動 ②2月下旬~3月上旬 現地で施策発表会 その他、地域おこし協力隊OB等とオンライン交流会を実施予定。 (4)旅武者主催の「武者修行プログラム」の受け入れ協力。あつみ温泉地内、9月7日~21日全国各地から参加の大学生19名が、あつみ温泉の観光振興を目的としたビジネスプランを提案。	・若者が、就職や進学を機に地域を離れても、関係人口として関わり、将来的に地元回帰する事業を実施する。 ・若者の地方体験交流を促進し、関係人口の創出、拡大につながる取組を継続実施する。 ・移住定住に関する事業については、地域振興課と連携し実施する。

令和4年度温海地域まちづくり未来事業等の進捗状況について

NO	区分	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	事業概要(全体)	令和3年度取組・評価	令和4年度事業概要	令和4年度事業の進捗状況と今後の予定	次年度以降の計画(方針)
								※実施状況(8月末時点)	
8	新規	産業建設課	基本方針(3)自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	温海地域魅力発信事業	・鶴岡市の南の玄関口となる鼠ヶ関の「新道の駅」等で提供する温海地域の地域資源を活用した観光コンテンツを造成 ・地域おこし協力隊1名を配置。(あつみ観光協会配置を想定)		(1)温海地域の地域資源について調査・整理し、観光コンテンツとして活用可能にする。 (2)観光客の受け入れ体制について地域住民等と調整する。	・観光プログラム造成等をミッションとした地域おこし協力隊1名を受入。(10月1日着任予定) ※募集期間:7月4日~7月28日 ・あつみ観光協会と「温海地域魅力発信業務委託契約」を締結し、地域おこし協力隊とともに観光プログラムの造成に向けて活動を開始予定。	・観光プログラムの造成に向けた活動を継続するため、引き続き「温海地域魅力発信業務委託契約」を締結予定。(地域おこし協力隊の任期は最長3年) ・地域おこし協力隊任期終了後の定住支援策を検討。
9	新規	総務企画課	基本方針(3)自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	温海地域教育環境充実事業	地域の教育環境の充実のため、地域おこし協力隊を1名配置し、地域と学校の連携・協働による中学生への学習支援の充実や、新学習指導要領に定められた「生きる力」「非認知能力」を育む教育を推進する。	※令和4年度新規事業	(1)あつみ地域未来塾の拡大のため、事業計画から受講生の募集、講師の確保、事業運営等のニーズやカリキュラムを検討。 (2)地域コーディネーターとしてのスキル研修等を支援する。	・地域の教育環境の充実をミッションとした地域おこし協力隊1名を受入予定(委託先候補団体と交渉中) ・あつみ地域未来塾、生きる力を育む教育の事業を担当職員と一緒に取り組む。	・あつみ地域未来塾の拡大のため、事業計画から受講生の募集、講師の確保、事業運営等のニーズやカリキュラムを検討。地域コーディネーターとしてのスキルを研修等により支援。 ・各保育園で取り組んでいる生きる力を育む、豊かな心を育てる、非認知能力を伸ばす教育と学校教育との連携を地域や関係機関と進める。
10	継続	産業建設課	基本方針(4)農林水産資源のブランド化	温海地域在来作物振興事業	古くから栽培されている在来作物「焼畑あつみかぶ」「越沢三角そば」の継承や認知度向上により、生産者の所得向上と地域経済の活性化を図る。	(1)焼畑あつみかぶは、生産者の裾野を広げることができた。また、オーガニック野菜として関東や関西圏で認知度が向上した。 (2)越沢三角そばは、栽培から製粉までの全工程を地域内で完結する体制が整い、また、新たな商品開発(乾麺等)により、増加した玄ソバの販路拡大が図られた。	「焼畑あつみかぶ」の更なるブランド力向上や「越沢三角そば」のプロモーション活動等に向けた取り組みを支援する。	(1)焼畑あつみかぶ 安定生産体制の構築を目指すチャレンジ支援には3団体(内新規2団体)が活動を行っており、焼畑地へのスギ葉供給事業の申込者は17名(前年利用者8名)であった。 (2)越沢三角そば 6月に首都圏でそば関係者へのプロモーション活動を行った。また、玄そばの品質確保・生産技術の向上に向けた栽培技術講習会を開催した。	(1)焼畑あつみかぶ振興による地域活性化を図るため「焼畑あつみかぶブランド力向上対策協議会」の活動を引き続き支援する。 (2)越沢三角そば振興による地域の活性化を図るため「まやのやかた越沢三角そば生産組合」の活動を引き続き支援する。
11	継続	産業建設課	基本方針(4)農林水産資源のブランド化	中山間集落モデル農林業実践事業	皆伐跡地で、伝統農法である焼畑農法の継承と再生林の推進をセットにした仕組みにより、林業の振興を図り、活力ある中山間集落の維持につなげる。	・小岩川南沢での焼畑あつみかぶの栽培を実施。 ・関東、関西圏への販路拡大は、数年間にわたる販売促進により生かぶとして認知度が上がり売上げ、販売単価も安定してきている。 ・地元への価値浸透促進活動は、地元のイベント参加とツアー受入れにより継続している。	・楨代長沢での焼畑あつみかぶの栽培を実施。 ・補助事業で蓄積した焼畑のノウハウを地元への周知。 ・首都圏・関西方面への販売促進に注力。 ・人材確保と後継者育成に取り組む。 ・自立に向け体制整備。	温海町森林組合の取組を支援。 ・6月に新たに2名雇用し、8月に火入れと播種を実施。(随時SNS等で情報発信中) ・10月下旬以降収穫作業と生かぶの販売を開始予定。 ・関東方面への販売促進や収穫体験ツアーの受入れも計画しており、併せて、販売促進用動画を製作予定。	・温海町森林組合が自走し事業継続予定

令和4年度温海地域まちづくり未来事業等の進捗状況について

NO	区分	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	事業概要(全体)	令和3年度取組・評価	令和4年度事業概要	令和4年度事業の進捗状況と今後の予定	次年度以降の計画(方針)
								※実施状況(8月末時点)	
12	継続	産業建設課	基本方針(4) 農林水産資源のブランド化	温海地域小ロット農産物生産振興事業	温海地域において小ロット農産物の質と量を確保するため、安定して生産・集荷・販売される仕組みを構築し、複数の産直組織が一つの組織として産直活動を行う組織づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅あつみ「しゃりん」での販売はコロナ禍により売上が伸びず目標に届かなかったが、あつみっこ給食センターにおける鶴岡産農産物の利用割合はほぼ達成できた。 「畑らいふ支援事業」は、参加者のスキルアップが順調に進んでおり、軽トラック市のスタイルで取り組んだ「温海農林水産まつり」では生産者の自主販売意識の醸成と地産地消の推進が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)小ロット農産物などを地域内で販売する「温海農林水産まつり」を軽トラ市として開催する活動を支援する。 (2)新たな産直組織の設立を支援し、設立後に円滑な活動ができるように組織活動を支援する。 (3)「畑らいふ支援事業」として活動している初心者グループへの野菜づくり指導活動を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> (1)温海農林水産まつり実行委員会において、クアポリス温海が主体となり11月中旬の開催で準備を進めている。 (2)7月13日に「あつみ旬菜会」が設立された。地域内の産直活動が活発になるよう活動計画を検討している。 (3)あつみ天パク会が「畑らいふ支援事業」として9グループに野菜づくり指導を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに設立された「あつみ旬菜会」の活動及び組織運営を強力に支援する。 「軽トラ市」の開催と「畑らいふ支援事業」も小ロット農産物の生産振興に向けて支援を継続する。
13	移行	産業建設課	基本方針(4) 農林水産資源のブランド化	関川しな織人財育成・体験等支援事業【移行】	しな織の良さを全国に広め、販売促進に繋げるとともに、しな織に携わる新たな人財育成の取組みを支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 関川しな織協同組合ホームページを新たに制作し、ホームページ上で、糸づくり等の体験研修の申込みと、しな織製品の購入が可能となった。 庄内一円から5名が糸づくり研修に参加し、しな織への興味関心と理解の醸成に繋げる研修を開催した。 	※温海地域伝統的工芸品振興事業へ移行		
14	完了	産業建設課	基本方針(4) 農林水産資源のブランド化	しなの花活用プロジェクト事業【R3完了】	しなの木の花等を活用した新商品のPRや、新たな製品の研究開発を産官学連携により進める。	<ul style="list-style-type: none"> しなの木の花を活用した製品開発については、事業化ステージに移行しており、WEB販売等や委託販売も開始し、今後の販路拡大について期待する。 			
15	拡充	産業建設課	基本方針(4) 農林水産資源のブランド化	温海地域伝統的工芸品振興事業	羽越しな布振興協議会が国の認定を受けて実施する第4次振興計画(R4～R8)に基づき、羽越しな布の伝統的工芸品の振興に資する取組を支援する。	※R3年度商工費しな布振興事業	<ul style="list-style-type: none"> (1)後継者の確保・育成事業 (2)技術・技法の記録収集及び保存事業 (3)原材料の確保事業 (4)需要の開拓事業 (5)意匠の開発事業 ※山形県伝統的工芸品産業支援事業補助金の廃止に伴い予算を一部拡充	山形県地場産業等振興補助金が6月17日に交付決定され、皮はぎ研修・しな煮、しな洗い研修を産地の若い世代を対象に実施。糸づくり研修は、産地外を対象として月2回のペースで計画したが、新型コロナの影響もあり7月に1回のみの実施。また、8月24日から大阪で開催された伝統的工芸品展に参加した。今後も後継者育成を目的とした研修の実施と、新パッケージデザイン製作、販路拡大のためのパンフレット増刷などを支援する。	R4年度は国の補助金が不採択となったが、産地とともに今後の方向性を確認したうえで、後継者育成事業などを継続して支援する。また、しな織製品のPR方法を見直しつつ情報発信についても強化していく。

令和4年度温海地域まちづくり未来事業等の進捗状況について

NO	区分	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	事業概要（全体）	令和3年度の実績・評価	令和4年度事業概要	令和4年度事業の進捗状況と今後の予定	
								※実施状況（8月末時点）	次年度以降の計画（方針）
16	移行	総務企画課	基本方針（5）次代を見据えた自治会機能とコミュニティ機能の強化	ICTを活用した課題解決研究事業【移行】	地域課題解決手法として、ICTの活用を検討し、生活支援サービスも含めた新たな情報伝達システムの調査研究を行うとともに、ICT活用に踏み込む前段として集落ビジョン策定の後押しを行う。	・ICTを活用して地域課題解決に取り組んでいる県内外の先進事例の情報収集、有線放送設備に代わる新たな情報伝達システム構築の調査研究を継続しつつ、ICT活用に踏み込む前段としての集落ビジョン策定の後押しにシフトした。	※市全体のデジタル化の取組へ移行		
17	継続	総務企画課	基本方針（6）海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	養蚕環境整備事業	鶴岡シルクタウンプロジェクトにおける一貫工程の土台を守り、中山間地域の振興と高齢者の生きがいに繋げる。	・福栄養蚕振興会が行う活動を支援した。 ・春蚕の飼育については7/5に繭・生繭の出荷を終了した。 繭…37.1kgを出荷したが、品質が悪く値段が付かなかった。 繭…10kg40,000円で出荷した。 ・蚕の飼育及び桑園の維持管理などの共同作業により、地域コミュニティの醸成、高齢者の生きがいを図ることができた。また、本事業により、絹産業の一貫工程の土台である養蚕業を維持し、鶴岡シルクタウンプロジェクトの推進に寄与した。	福栄養蚕振興会が行う活動を支援する。 (1)蚕の飼育管理 春蚕 25,000頭、秋蚕 25,000頭 (2)繭の出荷ほか、松が岡開墾記念館などへ稚蚕の配布も行う。 (3)令和3年度に問合わせのあった蚕繭の漢方薬原料への試験的な出荷など繭生産以外の収入を確保する。	(1)蚕の飼育管理 ・春蚕 25,000頭を飼育し、繭を24.4kgを出荷した。 ・秋蚕 25,000頭を飼育 (2)松が岡開墾記念館へ配布 ・春蚕 幼虫6,250頭 ・秋蚕 幼虫約3,000頭 (3)繭生産以外の収入の確保 ・秋蚕の幼虫約10,000頭を県外企業へ約12,000頭を県内の農家や企業へ出荷	・引き続き福栄養蚕振興会の活動を支援し、養蚕による地域コミュニティの醸成、高齢者の生きがいを推進する。
18	継続	総務企画課	基本方針（6）海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	高等学校等生徒通学費支援事業	地理的要因により通学費負担が大きい高校生世帯を支援することにより、条件不利地であっても、地域を離れず将来にわたり暮らし続けられる生活環境の確保を図る。	・申請件数142件、（実人数87名） ・高校生等の通学費の一部を支援したことにより、保護者等の負担軽減を図ることができた。	(1)高校生世帯に対し、通学費の一部を支援する。 (2)保護者等がスマホ等で簡単に申請できるようにデジタル活用を検討する。	(デジタル化の検討) ・8月17日 LINE活用による申請が可能か打合せ。（市デジタル化戦略推進室、朝日庁舎、温海庁舎） ・次年度の活用開始を目指し、引き続き関係各課と検討する。 （制度の周知） ・新高校1年生になる保護者向けに中学校の協力を得てチラシを配布する（3月）。	・高校生等世帯の負担軽減を図るため、通学費の一部支援を継続するとともに、申請手続きにデジタルを活用し、保護者等がスマホでの申請可能を目指す。

令和4年度温海地域まちづくり未来事業等の進捗状況について

NO	区分	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	事業概要（全体）	令和3年度の取組・評価	令和4年度事業概要	令和4年度事業の進捗状況と今後の予定	
								※実施状況（8月末時点）	次年度以降の計画（方針）
19	拡充	市民福祉課・総務企画課	基本方針（6）海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	自然資源を生かした教育環境整備による定住促進事業	地域の自然を活用し、特色ある教育環境、子育て環境確保により、子育て世代も安心して暮らし続けられる基盤づくりを進め、交流・関係人口の構築を図る。	保育園においては、あつみ福祉会と連携し、保育関係職員を対象とした研修会を開催した他、管内3園の年長園児交流事業(福栄の日/年4回)と講師による保育園訪問指導を各園1回実施し、保育士の資質向上を図ることにより、子どもへのアプローチに変革が起きている。 学校教育においては、小中学校と温海の地域課題を共有し、市教委との連携を築くことができた。市教委協力のもと小中学校管理職と総合的な学習担当教員への研修会を開催し、次年度以降から取り組むための年次計画を作成することができた。	主たる講師とアドバイザー契約を結び、「生きる力を育む教育」の実践について、保育士、教職員を支援する。 (1)保育士の研修や地域の特色を体験できる保育園づくりを支援する。 (2)非認知能力を高める教育を小中学校でも実践するため、各校全教職員を対象に研修を実践する。	・4月1日に講師とアドバイザー業務委託契約を締結 ・庁舎全体で本事業に取り組むため、プロジェクトチームを結成 (1) 保育園 ・講師による各園訪問指導、保護者説明会、年長児交流事業（第2回は雨天中止） ・6月9日 「非認知能力」を育てる教育に取り組んでいる県内保育園への先進地視察研修 ・年長児交流事業「福栄の日」第3・第4回 ・世界子どもの日にちなんだPOP-UPフェスティバルに参加予定 (2) 学校 ・5月23日 温海中教職員対象ワークショップ実施 ・教職員ワークショップの開催（9月:あつみ小、12月:鼠ヶ関小）	・「生きる力を育む教育」「非認知能力を高める教育」を地域全体の教育方針に位置付け、保育園から小中学校までを一貫とした教育の柱とするため、関係機関が連携して取り組み、保護者への研修を実施するとともに地域住民の理解と支援を得ながら、移住者も視野に入れ幅広く情報発信し周知していく。
20	継続	総務企画課	基本方針（6）海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	遊休資産等利活用に向けた市場調査事業	遊休資産、特に廃校の利活用について、市場性の有無や事業スキームを、想定される事業者との対話により検討を行い、その活用の実現を目指す。	・旧山戸小学校について、周辺住民を対象にワークショップを開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大があり実施に至らなかった。 ・同施設の利活用について問い合わせがあったが、活用には至らなかった。	(1)庁舎アトリウムの有効活用の検討 (2)廃校活用セミナー等へ参加し情報収集を図る。 (3)施設等の貸付、売買に向けた条件整備を検討する。 (4)サウンディング実施検討（庁内検討）	(1)有効に活用に向け、検討している。 (2)公有財産の利活用についてどの方式が適しているのか、サウンディング、廃校活用セミナー等情報収集している。 (3) (4) 施設毎に異なる条件を整理し、活用方式について庁内で検討する。	(1)令和4年度の方針に沿って実施する。 (2)～(4) 遊休資産について、適した方式により利活用を進める。

令和4年度温海地域まちづくり未来事業等の進捗状況について

NO	区分	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	事業概要(全体)	令和3年度の取組・評価	令和4年度事業概要	令和4年度事業の進捗状況と今後の予定	次年度以降の計画(方針)
								※実施状況(8月末時点)	
21	継続	総務企画課	基本方針(6) 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	温海地域公共交通網形成事業	路線バスに代わる新たな移動手段として、道路運送法第21条の規定に基づく乗合タクシーの試験運行を実施する。また、その検証等を踏まえ、地域の特性に応じた、持続可能な公共交通網の形成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシー試験運行開始後、概ね良好な利用者数の推移となっている。 路線外特別運行をお試しで利用した方以外の定期的利用が無かった。 利用者満足度調査では、「満足」「概ね満足」の合計割合が全体的に前年を上回る結果となり、路線バスより利便性が高まったとの声もあった。 一方、増便の要望等もあることから、利用実態に合わせた運行内容の修正検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシーの試験運行について、利用者満足度調査や温海地域公共交通運営協議会での意見をもとに運行経路、運行時間等の調整、見直し・検討を行う。 路線外特別運行について、利用実績がないことから対象集落の意見を集約し、利用しやすいものとなるよう検討を行う。 予約システム等のICT活用の次年度以降の導入について、地域振興課や他の運行管理団体等と意見交換・検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 5月23日温海地域公共交通運営協議会総会開催 6月1日時刻表の改正、一部路線の増便、乗降箇所の追加・変更を行った。 10月～11月利用者満足度調査を実施予定 路線外特別運行の見直しと対象集落との意見交換を予定 運行事業者との意見交換、各運行部会との意見交換を予定 ICT活用については、全市的な取り組みとして検討する必要があることから、地域振興課主導で行うこととした。 	<ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシーの試験運行について、利用者満足度調査や温海地域公共交通運営協議会での意見をもとに運行経路、運行時間等の調整、見直し・検討を行う。 3年の試験運行期間が終了することからR5年10月～の本格運行を目指し、試験運行の評価検証を行う。
22	継続	総務企画課	—	あつみ地域未来塾	地理的要因により市内の学習塾等へ通うことが困難な生徒(温海中学校3年生)に対し、あつみ未来塾を開講し、学習機会の提供と学習支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 受講生35名(温海中3年生48人) 講師10名(継続6名、新規4名) 7月19日 温海中学校地域学校協働本部会議 9～1月まで計15回実施(うち冬期にサテライト講義を4回実施。) ※コロナウィルス感染症拡大防止のため、予定していた20回を実施出来なかった。 受講生のアンケートから、全員が役に立った、7割以上から実力が向上したと回答があり、学習支援の成果が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 温海中学校3年生希望者を対象に、9月から2月まで土曜日の午前中に温海ふれあいセンターにおいて、あつみ地域未来塾を20回開塾する。 	<ul style="list-style-type: none"> 受講生33名(温海中3年生41人) 講師10名(継続8名、新規2名) 7月25日 温海中学校地域学校協働本部会議 社会の講師が確保できず4教科7クラスで開塾 9月～2月まで計20回実施予定。 2月に受講生へのアンケート調査を実施。 夏休み期間や土曜日以外の開講については、講師の確保が難しく課題となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境の充実を図るため、開講日や参加対象者の拡大を引き続き検討し、講師の確保に努める。
23	継続	総務企画課	—	温海ふれあいセンター機能強化事業	文化の向上と福祉及び健康増進並びに生涯学習の推進を図るため、地域の生涯学習の拠点となっている温海ふれあいセンターの長寿命化及び利用拡大の検討を進め、市民の文化活動等の利用、生涯学習機会の場としての機能充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 6月22日 冷却塔ファンモーター交換修繕完了 11月4日 外壁危険箇所部分修繕完了 11月 施設の利用拡大・整備に関するアンケート実施 3月16日 誘導灯交換修繕完了 温海生涯学習振興会と修繕箇所の把握や利用者増加の取組を常に情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者である温海生涯学習振興会と連携して適正な施設管理に努めながら、施設利用者等からの要望等を取り入れ魅力ある各種事業・講座を実施し、施設利用者の増加を図る。施設の長寿命化のための修繕計画の検討を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕について、温海生涯学習振興会と緊急度などを確認し計画的に進める。空調設備修繕工事を予定している。 生涯学習推進員・青少年育成推進員合同会議の開催(6月、3月予定) 社会教育事業、生涯学習事業について情報共有し、各種事業の充実を目指し打合せを行った。 施設の利用拡大と整備に関するアンケート調査を実施し、次年度の事業計画等に生かす(12月頃実施予定) 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き指定管理者である温海生涯学習振興会と連携して適正な施設管理に努めるとともに、利用者等の要望等を取り入れ魅力ある事業・講座を実施し施設利用者の増加を図る。 施設、設備ともに老朽化しているため、長寿命化を検討しながら、支障のある箇所を順次修繕し利用者の安全安心な利用を確保する。

令和4年度温海地域まちづくり未来事業等の進捗状況について

NO	区分	担当課	地域振興計画の位置づけ	事業名	事業概要（全体）	令和3年度取組・評価	令和4年度事業概要	令和4年度事業の進捗状況と今後の予定		
								※実施状況（8月末時点）		
24	完了	総務企画課	—	農山漁村振興交付金（地域活性化対策）事業 【R3完了】	福栄地区における、産業、買い物、交通、医療・福祉、教育の各分野において、ICTを活用した定住条件の強化を進め、若者から高齢者までが安心して住み続けられる地域の実現を目指す。	6つのプロジェクトを計画。 ①養蚕：秋蚕25,000頭を飼育、繭46.7kgを生産し、桑園26aを維持管理した。共同作業によるコミュニティの醸成と高齢者の生きがいづくりにつながった。 ②医療・福祉・介護連携：サテライト型の健康教室を各集落持ち回りで開催した。（10回延べ19会場152名参加） ③教育環境づくり：冬期間、あつみ地域未来塾のサテライト教室を4回開設した。 ②③は、参加者の満足度が高かった。その他、民泊交流、買い物支援、生活確保（交通）事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止により事業を実施出来なかった。				

【国道7号一体型】 道の駅あつみ移転整備事業について

1. 事業の目的



- ▶ 日沿道・新潟県境区間の延伸に向け、鼠ヶ関IC(仮称)隣接の適地に道の駅あつみを移転し、防災機能を高め、地域拠点の核(コア)として整備することで、コンパクトプラスネットワークの都市構造を実現し、**持続可能なまちづくりを推進**。
- ▶ 質の高いサービスを展開・提供し、**快適に、満足度高く、暮らし続けることができる鼠ヶ関地区の価値向上**。(QOLの向上)
- ▶ 地域にお金が落ちて、地域で循環する、**地域で稼ぐ仕組みの構築**。

2. スケジュール：官民連携「DBO方式」で整備 ⇒ R9年度開業目標



3. 施設テーマ：鼠ヶ関・温海・鶴岡の“旬”をつないで、手軽に、いつ来てもワクワクする道の駅

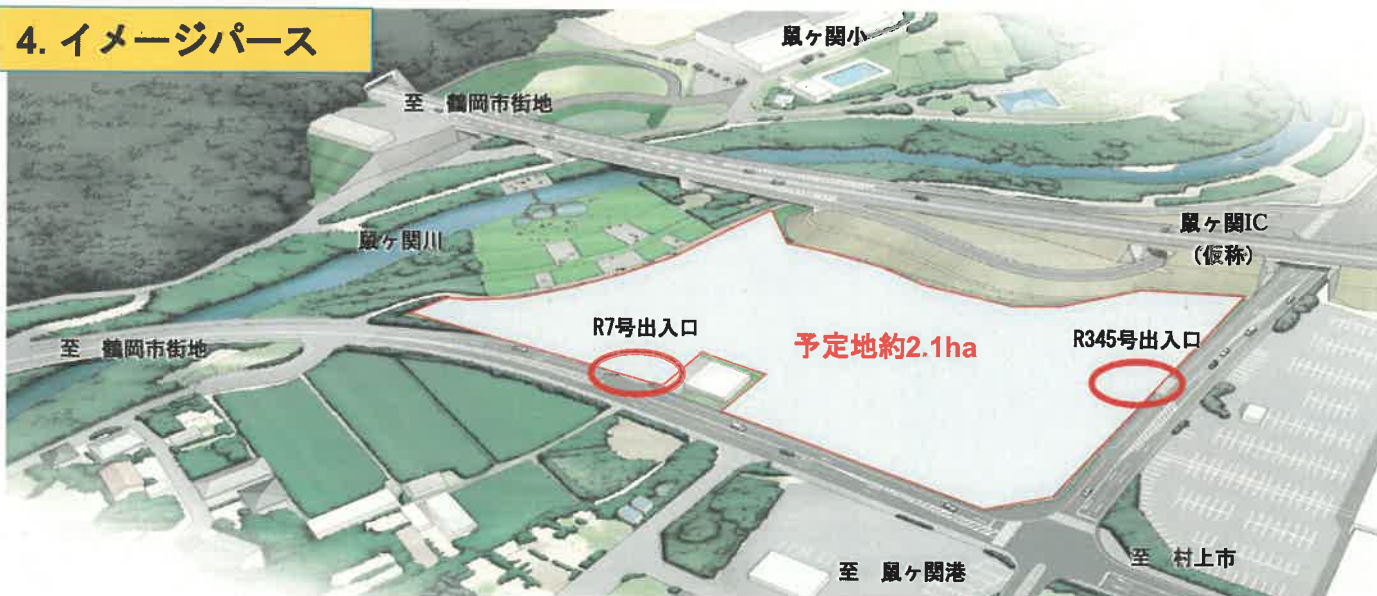
農林水産物の生産状況が「少量多品種」という地域の特徴を逆手に取り、「食のゲートウェイ」として鶴岡の食文化の豊富さを紹介



鶴岡市・庄内エリア 南のゲートウェイ



4. イメージパース

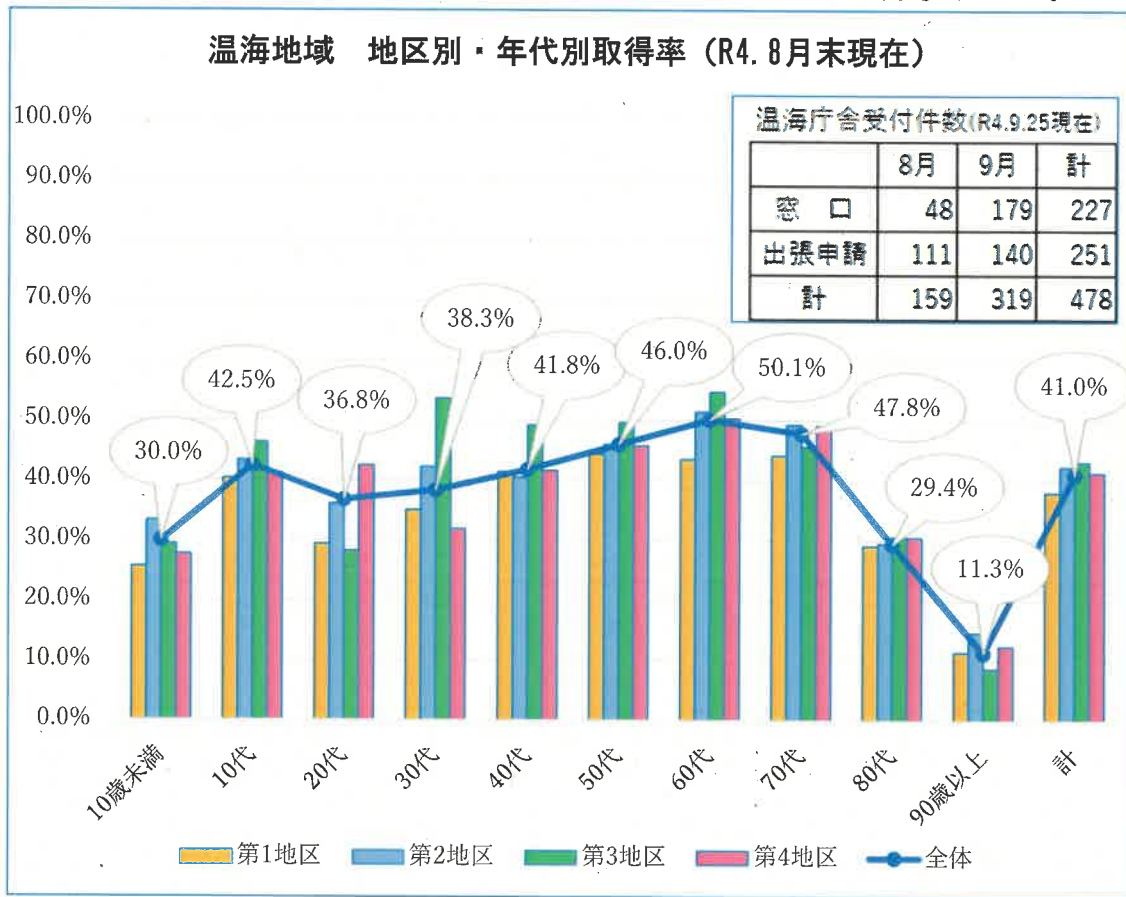


マイナンバーカードの取得促進について

デジタル社会の構築に向け、マイナンバーカードの取得促進が求められています。

鶴岡市では、8月後半から普及の強化に取り組んでおり、温海地域では出張申請などを実施し、これまで12集落、9事業所(予定含)、1団体にご協力いただいております。

国では、令和4年度中にほぼ全ての国民のカード取得が進むよう、マイナポイントの付与ができるカード取得申請期限を、当初の9月30日から12月末まで延長することが決定されました。



今後の取り組み

8~9月は、たくさんのお申し込みをいただきました。

さらに、取得率の低い年代の方の取得促進に取り組むたいと考えております。

ご家族やお知り合いの方で、未取得の方がいましたらぜひ、お声がけくださるようお願いいたします。

最大2万円分のポイントがもらえる
カードの取得手続きは12月まで!
取得のお手伝いいたします。



お問い合わせは温海庁舎市民福祉課 TEL: 43-4614 までどうぞ